

会 議 録

1 会議名

平成28年度 第3回頸城区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

○平成28年度頸城区地域活動支援事業について
（提案事業プレゼンテーション）

(2) その他（公開）

3 開催日時

平成28年5月31日（火）午後6時30分から午後8時58分まで

4 開催場所

頸城コミュニティプラザ 2階 203会議室

5 傍聴人の数

4人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：井部辰男（会長）、関川正平（副会長）石野敏、上村闈一、笠原昇治、
佐藤学、佐野喜治、滝本篤透、西巻肇、橋本博太、船木貴幸、望月博、
山本光夫、山本誠信、横山一雄（委員16人中15人出席）
- ・事務局：頸城区総合事務所 布施所長、石野次長、石川市民生活・福祉グループ長、
総務・地域振興グループ藤澤班長、村山主任、山崎主任、柳主事
（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容

【石野次長】

- ・会議の開催を宣言

【井部会長】

- ・挨拶

【石野次長】

- ・芳賀委員の欠席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：上村委員、笠原委員に依頼

【井部会長】

第2回地域協議会に欠席であった山本光夫委員に自己紹介を求める。

【山本光夫委員】

色々な勉強をして知識を広げたいと思い、自分から進んで応募した。産業部会に参加することになったのでよろしくお願ひしたい。

【井部会長】

協議事項「平成28年度頸城区地域活動支援事業について」の募集状況を報告し、プレゼンテーションの実施方法について事務局に説明を求める。

【藤澤班長】

参考資料「平成28年度頸城区地域活動支援事業の採択方針」により説明

【井部会長】

- ・事務局の説明について質疑を求めるがなし
- ・No.1「頸城区のまちづくり情報発信力向上事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（井部会長、橋本委員 退席）

【関川副会長】

提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

No.1「頸城区のまちづくり情報発信力向上事業」について提出資料をもとに説明

【関川副会長】

委員に質疑等を求める。

【山本光夫委員】

この事業に関してではないが、先日西部地区で行った会談の中で、巡回バス路線の時間の見直しについて話しがあったことは聞いているか。改善要求をくびき振興会に出しているが実際に入っているか。

また、通園バスのドライバーにシートベルトをしていない人がいる。そのようなと

ころから節度のある指導をしていただき事業提案するのが筋ではないか。

提案書に記載があり、普段はなかなか意見を言う機会がないので発言した。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

巡回バスはくびき振興会とは無関係である。担当しているのは行政である。

通園バスについて、ドライバーの指導が不十分であったことは指摘のとおりであるので、直ちに注意する。

【石野委員】

見積書は1者でよいのか。2者以上の見積りを提出する必要はないのか。

【藤澤班長】

10万円以上の経費については2社以上の見積りが提出されているが、委員には資料として安価な方の見積りのみを添付している。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

本件についてはこれ以外に同等の印刷機がないことから、事務局と相談して事業初年度から1者の見積りのみとさせていただいている。

【佐藤委員】

事業の実施方法の記載に「地域へ一般開放する。」とあるが、どのようにPRしているのか。また、印刷機は誰でも使用できるのか。

使用料は1枚単位の金額とするのか無償とするのか、ルールを教えてください。

【提案団体】（NPO法人くびき振興会）

使用料も含めて年1回はくびきまちづくり通信に印刷機が使用できることを紹介している。現在もかなり多くの方が使用している。

使用料は白黒A4で1枚1円としている。非常に安価である。

【関川副会長】

- ・時間になったので審査を終了

【井部会長】

- ・No.2「頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（望月委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城中学校後援会）

No.2「頸城区を吹奏楽の演奏で活気づける事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

事業の目的及び期待する効果の記載に「頸城中学校の吹奏楽部の支援を通じて、子どもの健全育成を図り、」とあるが、この文言のあとに提案者として何か思いがあるか。また、来年度以降についてはどのような考えを持っているか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

高価な楽器を購入してもらうのは当たり前のことではなく、多くの方々のお世話になっていることを子どもたちに伝えることで健全な精神を育てていくという思いがある。

事業提案が3年目になり楽器が充実してきている。あとクラリネットが2台足りない。次年度もということであれば、クラリネット2台で現部員全員に楽器を揃えていただける状況である。

【横山委員】

昨年も当事業で楽器を購入されており、段々と高価な楽器が欲しくなるのは当たり前である。子どもたちは礼儀正しく一生懸命取り組んでいて素晴らしいので、常により指導者が就くようにして、高価な楽器を利用して長きにわたって活躍していけるようにしてほしい。

【笠原委員】

楽器を揃えることが“元気になる”ということではなく、中学生が卒業してもOBとしてサークルで活動するなど、楽器を生かしてにぎわいのあるまちづくりをしてほしい。

【井部会長】

- ・時間になったので審査を終了
- ・No.3「頸城区の環境整備事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（望月委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城中学校後援会）

No.3「頸城区の環境整備事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【上村委員】

現在は環境整備がなされていない状況であるのか。見た目はきれいなのか。または、整備が間に合わず環境が脅かされているのか。

現在所有している草刈機は中学校のみで使用していたのか。今回は複数の団体に貸し出すようだが、安全対策などが万全にできるのか。

【提案団体】（頸城中学校後援会）

現在は用務員だけでは大変であるので職員も一緒に草刈りをしている。体育祭の前には保護者から手伝ってもらい草刈りをする 것도検討している。

貸出しについて保険に入ることなどはまだ考えていない。軽トラックを持ってきていただき、そこに積み上げるまでは後援会がやるので、そのあとは借りた方の責任でもし壊れた場合にはメンテナンスをお願いする。頸城中学校で使用している際に壊れた場合は後援会で修理を行う。そのような条件を講習会で説明したうえで貸出し要望に応じていく。

【横山委員】

大農家ではトラクターで除草をしているので、営農法人にお願いをする方法も考えられる。子どもたちが地域の方々に支えられていることをよく理解できるのではないか。南川小学校では一部行事の際にトラクターを所有している方に草刈りをしていただき、その経費を南川地区振興会から支出している。そのような方法をもう一度検討してほしい。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.4「雁金城跡及び周辺の史跡保存、整備、併せ会員の知識の向上の事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（石野委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（雁金城跡保存会）

No.4「雁金城跡及び周辺の史跡保存、整備、併せ会員の知識の向上の事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

太鼓を購入して使用するのは年間2回であるか。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

太鼓の必要性についてであるが、狼煙上げの欠点は悪天候などにより狼煙を挙げられないことである。昔は集落の集会などの際には太鼓を叩いて人を集めていた。坊金というところに登ってみたが、連絡を取るための太鼓があつて直峰城と連絡を取っていたということが書いてあつた。太鼓は昔から通信手段として非常に大切なものだと思います。思い提案した。

【佐藤委員】

「資料の設置箱」とあるが、これに関する見積書はあるか。

太鼓は非常に高額であるので、レンタルという手法ではだめなのか。

研修視察のバス代を3分の1補助する根拠はあるか。

【提案団体】（雁金城跡保存会）

研修視察で補助対象としているのはバス代だけである。

「資料の設置箱」はA4カタログケースという名称で見積りされている。観光客などからパンフレットを置いていないのかという質問が多々あることから、利便性を考えて設置したい。

まずは太鼓を習得することが大切である。その時だけ太鼓を叩くのではなく、きちんとした形で習得したい。

【井部会長】

- ・ 時間になったので審査を終了
- ・ No.5「宮本地域住民の安全安心なまちづくり事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（宮本町内会）

No.5「宮本地域住民の安全安心なまちづくり事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【山本光夫委員】

宮本町内会では第一避難所と第二避難所はどちらになっているか。

【提案団体】（宮本町内会）

一次集合場所は町内会館である。避難所は頸城中学校である。

【山本光夫委員】

それであれば、団体の大きな頸城中学校で配備したほうがよいのではないか。大きな組織ではトランシーバーを使った防災訓練ができるが、今の話しであると宮本町内会という小さい枠の防災訓練にしかならないと思う。どのように考えているか。

【提案団体】（宮本町内会）

防災訓練ということだけではなく、実際に災害が起きた時にどのように対応すればよいのかということで提案している。様々な事態が想定されるが、高齢者が逃げ遅れたり、置き去りにされたりすることを防ぐためにこの考えを持った。

【上村委員】

宮本町内会は自主防災組織が立ち上がっているのか。

地域活動支援事業は頸城区をどのようにしたら元気にできるかという最大の目的があるが、それをこの事業でどのように理解すればよいか。

【提案団体】（宮本町内会）

災害が起きた時にスムーズに対処したいという願いがあるので、これまで防災に関する提案をしている。

自主防災組織の設立を考えたこともあるが現状は設立されていない。地域活動支援事業に防災に関する項目があったのでこちらを選んだ。一度に全て提案するよりも数年に分けたほうがよいと思い取り組んできた。

【佐藤委員】

トランシーバーを町内で買えない理由は何か。

【提案団体】（宮本町内会）

お金がないからである。

【井部会長】

- ・ 時間になったので審査を終了
- ・ No.6「健康増進事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について審査を開始

- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（滝本委員 退席）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

No.6「健康増進事業（ファミリーウォーキングとレクリエーション）」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【山本光夫委員】

参加賞は参加費の中から支出するのか。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

参加費の収入は100名で2万円としている。偶然に同額となったが、参加賞という形で参加者に還元する。収入が支出にそのままスライドする訳ではない。

【石野委員】

今回は100名参加予定としているが、参考までにここ数年の参加者実績を教えてください。

【提案団体】（NPO法人ユートピアくびきスポーツクラブ）

去年は56名、一昨年は80名程度で推移している。始めた当初は100名を超えていたので、今年は100名を超えられるように募集方法を検討していきたい。

【井部会長】

- ・ 他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・ No.7「冬期区民スポーツ大会開催事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（滝本委員 退席）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城体育協会）

No.7「冬期区民スポーツ大会開催事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【笠原委員】

健康増進を目的に参加しているのに参加費をもらって参加賞で還元するのは邪道ではないか。賞品の単価も高いものがあり、スポーツを楽しむという目的に逸脱して

いるのではないか。

【提案団体】（頸城体育協会）

スポーツは競技そのものを楽しみ健康増進を図るものだが、その中に競技性も必要になってくる。それほど差をつけてはいないが、優勝、準優勝、3位という結果が伴うので練習をした成果として賞品を出している。

【佐藤委員】

この支出以外に体育協会で支出しているものはあるか。

【提案団体】（頸城体育協会）

この事業に関してはこの支出が全てである。これ以外に体育協会を持ち出ししている支出はない。

【横山委員】

参加者が少なくなってきたので、違う競技の実施を検討してはどうか。また、参加者がつまらないと言っているのが事実である。もう少し競技などにめりはりをつけたスポーツ大会にしてほしい。

【提案団体】（頸城体育協会）

体育協会内で十分に協議をして、事業の見直し等に役立たせていただく。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.8「レールパーク施設安全対策事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（笠原委員、船木委員 退席）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

No.8「レールパーク施設安全対策事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【上村委員】

どのようにしたら頸城区を元気にできるかという発想のもとで議論している。これまでも支援しているので、頸城区内からレールパークを訪れる人が全体の18%という数字をもっと上げてもらいたい。区内の住民にどのように認知されているのかということ振り出しに戻って考えて努力してほしい。

【望月委員】

採択決定を受けてから直ちに準備するとのことだが、万が一採択されない場合はどうなるのか。また、料金を徴収して見せる訳にはいかないのか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

商売になってしまうので料金を徴収して見せることはやっていないし、そのようにする考えもない。来場者には寄付を募って気持ちをいただいている。

【石野委員】

今回は安全対策の事業であるが、万が一採択されなかった場合にはどうするのか。来場者数などの事業の目標はあるか。

【提案団体】（NPO法人くびきのお宝のこす会）

来場者の安全にかかわることであるので、採択されなかった場合には自主財源で少しずつやっていく。

組織として数値目標は設定していないが、少なくとも前年度にプラスアルファとなるくらいの来場者数を考えている。区内の人はなかなかリピーターになりにくいですが、もっとこの宝を知っていただくためにイベントの内容に手を加えていくことも検討している。

【井部会長】

- ・ 時間になったので審査を終了
- ・ No.9「青少年育成事業」について審査を開始
- ・ 審査を辞退する委員に退席を求める（滝本委員 退席）
- ・ 提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（頸城大養少年剣道部）

No.9「青少年育成事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【横山委員】

頸城体育協会に入っている剣道の団体が3つあると聞いているが、他団体との協調性についてはどのように考えているか。

【提案団体】（頸城大養少年剣道部）

少年剣道教室は南川、大養、明治にあり、大養と明治は一緒にやっている。人数が

少なくなってきたが、ひとつになることはなかなかできない。将来的にはそのようなことも考えていきたいが、現時点では大瀧と明治で提案させていただいている。

【井部会長】

- ・他に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.10「沖縄教育文化親善交流事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（沖縄めんそーれの会）

No.10「沖縄教育文化親善交流事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

- ・委員に質疑等を求めるがなかったので、審査を終了
- ・No.11「頸城区観光協会の写真コンテスト事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（井部会長、笠原委員、西巻委員、橋本委員退席）

【関川副会長】

提案団体に事業の説明を求める。

【提案団体】（頸城区観光協会）

No.11「頸城区観光協会の写真コンテスト事業」について提出資料をもとに説明

【関川副会長】

委員に質疑等を求める。

【横山委員】

賞品代は現金か商品券なのか。頸城区の地産地消のためにそれにかかる金額を充当して商品として差し上げてはどうか。

【提案団体】（頸城区観光協会）

参考にさせていただきたい。

【船木委員】

全国発信ということで応募写真はホームページに載せていただきたい。

作品は区内にかかわらず、上越市内で展示できるように施設等に問い合わせをしていただきたい。

【提案団体】（頸城区観光協会）

昨年の夏には大池いこいの森のキャンプ場に多くのテントが張られており、東京や大阪から来ている人もいた。情報をいかにして発信していくかということが大切であると感じている。

【望月委員】

参加料をとってやることはできないか。

審査員は誰にお願いするのか。有名な先生にお願いするのか。写真コンテストに箔がつかなければいけないので、ぜひ検討してほしい。

【提案団体】（頸城区観光協会）

審査員はアマチュアカメラマンのコンテストの審査をされた方、実績のある方などをお願いしたいと考えている。

【佐藤委員】

募集方法に関する記載がないが、ホームページだけでなく効果的なPRをお願いしたい。

【提案団体】（頸城区観光協会）

様々なメディアを通じて多くの方に知っていただけるような方法をとりたい。

【関川副会長】

- ・時間になったので審査を終了

【井部会長】

- ・No.12「くびき百間町茶屋おもてなしたい事業」について審査を開始
- ・審査を辞退する委員に退席を求める（委員の退席なし）
- ・提案団体に事業の説明を求める

【提案団体】（K・H・O）

No.12「くびき百間町茶屋おもてなしたい事業」について提出資料をもとに説明

【井部会長】

委員に質疑等を求める。

【佐野委員】

構成員数5名とあるが、提案書に記載していない活動を何かやっているか。

活動の継続性、運営体制、採算性をどのように考えているか。

講師の目当てはあるのか。研修ではK・H・Oの皆さんが教えるのか。

【提案団体】(K・H・O)

組織は立ち上げたばかりでまだ活動はしていない。

講師について自前でできるものは自前でやりたいが、資格のあるものと考えているので教員免許がある前提でお願いしようと考えている。スタッフ研修は、その講師がおじいちゃんやおばあちゃんに研修するということである。

ワンコイン(100円)でお茶を提供し、子どもから料金はとらない。集まってくれたおじいちゃん、おばあちゃんなどから料金をいただいてサービスを提供する。

【滝本委員】

今後どのような形で運営していくのか。見通しを教えてください。

【提案団体】(K・H・O)

講師を呼んで押し寿司を作ってもらい、それをランチとして提供して料金をいただくと考えている。それがボランティアの方の車代になればよいと考えている。これから随時ボランティアを探したり、お願いしたりしていく。

【上村委員】

建物の賃貸借契約がどのようになっているか教えてください。

【笠原委員】

今までにこの事業の基礎となるような活動をやってきたのか。

【佐藤委員】

ボランティアを募る方法を教えてください。

【井部会長】

- ・後ほど事務局が回答の聞き取りを行う
- ・時間になったので審査を終了
- ・全ての提案団体からのプレゼンテーションを終了
- ・その他について事務局に求める

【石野次長】

- ・次回の協議会：6月中旬
- ・この後の全員協議会にてNo.12の回答を報告する

【井部会長】

- ・他に委員に求めるがなし
- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

頸城区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-530-2311 (内線 212)

E-mail : kubiki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。